

教科	英語	単元名	Unit1 Sports For Everyone
----	----	-----	---------------------------

### 本時のねらい

- ・自分で調べたパラスポーツやその選手について英語で発表できるようになる。
- ・Unit 1 で学習した表現も含めて、わかりやすい英語になるようにスピーチ文を考えることができる。

### 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・学習の個性化を狙い、生徒の進度に合わせて課題ができるように全ての活動をクラウド上で実践する。

### 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・Google ドキュメント
- ・Google スライド
- ・World Classroom

### 本時の展開

### 本時で育む主な情報活用能力

D-STEP 4, K-STEP 4

該当番号の詳細内容は「大阪府情報活用能力ステップシート」から確認できます。



学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ウォームアップ（帯学習）</li> <li>・ 聞きたレ（5分）</li> <li>・ 速読トレーニングシート（3分）</li> <li>・ スラスラ英会話（7分）</li> <li>○本時の学習課題を確認する。</li> </ul> 学習課題：パリパラリンピックについてのスピーチをする準備をしよう。	
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発表の準備をする。(進度は個人によって違います)</li> <li>・Google ドキュメントに自分が調べたパラスポーツについての紹介文を書き込む。【写真1】</li> <li>・Google スライドに紹介文をもとに、プレゼンするときに伝わりやすい写真やイラストを添付し、発表資料を作る。【写真2】</li> <li>・World Classroom に英語の紹介文を打ち込み、音読練習をする。【写真3】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Google ドキュメントに英文を入力することで、添削したものをすぐに生徒と共有できる。</li> <li>・教員が添削している姿をモニターを通してクラス全体で共有することで、同じような課題意識がある生徒に対してファシリテートすることもできる。</li> <li>・AI が自動採点する音読練習機能を活用しながら、個々の学習定着に応じた学習ができる。</li> <li>・クラウドにデータが保存されていることで、家庭学習でも取り組むことができ、進度の差や改善すべき点などを自分のペースで修正していくことができる。</li> </ul>
まとめ (5分)	○本時の振り返りを行い、次時の見通しを持つ。	

### 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真1】  
パラスポーツについて調べている様子



【写真2】  
スライドを作成している様子



【写真3】  
World Classroom を活用して音読練習をしている様子

### 児童生徒の反応や変容

- ・最初は World Classroom を使った音読練習を恥ずかしがる生徒もいたが、徐々に慣れていき、抵抗感なく取り組んでいくようになった。
- ・音読練習やスライドを活用した発表練習を試行錯誤し、発表直前で難しい単語を簡単な言い回しにする生徒が出てくるなど、英語をコミュニケーションの手段として活用していく姿があった。

### 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・全ての活動において、クラウドを活用することにより、学校での学習時間以外でも自分が進めたいタイミングで学習を進めることができ、個別最適な学習を進めることができた。